

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.4.12

No. 3

「進路ノート」配布 しっかり活用を！



それぞれの手元に「進路ノート」が配布されたことと思います。これは本校の進路指導に関する方法や日程や約束事、過去の進路先、今後各段階で提出すべき書類等が掲載されています。今後の進路に関わる事務的ことで疑問に思われる内容は、ほとんどこの中に載っています。例えば、履歴書の書き方、合格した企業(学校)への礼状の書き方等が掲載されています。聞いた方が早いという面はないわけではありませんが、疑問に思うことはまず是非この進路ノートで確認してください。

特に進学希望者は基本的には書類の取り寄せ等、各自で行わなくてはなりません。そのために必要な情報をつい見落とし、大切な機会を失するということが昨年もありました。そうした意味でも「進路ノート」にざっと目を通し、是非事前の予備知識を持てて欲しいものです。

3年次生第1回進路希望調査実施



すでに各クラスで進路希望調査の用紙が配布されていることと思います。

※切は15日(木)厳守です。

いよいよ最終学年を迎えて、進路を具体的に詰めなくてはならない時を迎えつつあります。就職したいのか進学したいのか、分野はどのようなものか、ある程度具体的に詰めなくてはなりません。

その際、親ともきちんと相談しなくてはなりません。特に進学希望者は、親の負担がかなり大きくなります。きちんと親の同意を得ていないと、せっかく合格しても進学をあきらめなくてはならないこともあり得ます。昨年も2名が合格後に経済的理由により就職に切り替えました。

また専門学校への進学希望者の中に、あまりにも自分の夢を追いかけて過ぎ将来の就職が懸念されるような例が出がちです。昨年も2名の生徒が周囲からの忠告で土壇場になり、方向変更をした例もありました。就職の厳しさはまだ数年は続くでしょう。あまりにも将来の見通しが甘いと、せっかく大金を払って進学しても、数年後かえって就職がしづらくなることも考えられます。進学希望者は当面就職ということから逃れられても、数年後には具体的な職を選択しなくてはならないことをまず肝に命じてください。2年制の学校へ進学した場合は、場合によれば1年次から就職活動が必要な時代です。

就職希望者で、サービス業希望者は、この地域にはその種の職場が極めて少なく、希望に叶った職場を探すことが難しいことを覚悟してください。